

港湾における高潮リスク低減方策検討委員会（第5回）議事概要

1. 主な議事

- 事務局より、第4回検討委員会での意見を基に高潮対策の技術的な検討、フェーズ別高潮・暴風対応計画のひな形及びガイドラインの改訂案について説明した上で、委員による意見交換を行った。

2. 主な意見

- 港湾機能の早期回復を主眼においたガイドラインであることを明確にすべき。
- 対策のベストプラクティスの情報共有を国の役割として位置付けるべき。
- フェーズ別高潮・暴風対応計画の各フェーズの甲斐市の判断基準が時間なのか、防災情報なのかが分かりづらい。時間は変動するので、防災情報を活用して対策を開始が基本とすること。
- コンテナの倒壊対策において、まずは望ましい対策を記載した上で、蔵置スペースに余裕がない場合の対策や対処時間が短い場合に他の対策を選択するような記載とすべき。
- 爆弾低気圧による高潮の被害事例を追加すべき。